

建築文化奨励賞

高齢者・障害者等に配慮した建築物景観に配慮した建築物

バリアフリーで安心感のある健康住宅

中庭の家

勝郎は、新しい街づくりが始まった分譲地に、障害をもった息子さんと、そろそろご自身の老後の暮らしを考えはじめたご夫妻が、ともに在宅で充実した暮らしを継続したいと造られた。敷地面積335.74m²、延床面積190.29m²、平屋。「家づくりは3度目」という、普請道楽ともいえる勝さん夫妻と、その夢の実現に向けて協力する建築家の、共に楽しみながらの家づくりの様子が随所にうかがえる、心地よい住宅である。

縦格子で視線をさえぎられた玄関扉を開けると、そこは別世界。自然素材で構成された室内は、中庭をも取り込んで、家全体がひとつになった、明るく開放的な大空間である。

十分な採光と通風は勿論のこと、居ながらにして、自然のすべてを感ずることができるよう、巧みな配慮がされている。

バリアフリーへの対応は、さりげなく最小限にとどめ、状況の変化に柔軟に対応できるように、要所に十分な広さが確保されている。現在は、外部に向けてむしろ閉鎖的にも見えるこの家が、地域に融合し、これからのユニバーサルな街づくりに、積極的に影響を与えてくれることに期待したい。(夏目幸子)

建築主：勝 政雄

設計：株式会社 UCA・都市・建築設計事務所

施工：有限会社 篠崎工務店

所在地：君津市常代1-15-25



▲南側からの全景
手前に車寄せと庭
奥がコートハウス
(撮影 栗原写真事務所)
◀玄関ホールから中庭を見る

建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物

自然エネルギーを活用する木造の園舎

麗澤幼稚園

麗澤幼稚園は、定員160名の私立の幼稚園だ。廣池学園(麗澤大学、麗澤中学・高等学校)の広大なキャンパス内にあり、地域にも開かれた緑豊かな恵まれた環境のなかに位置している。

園舎は、木造平屋建で、床延面積は1545.66m²。シンボリックな木造ドームの遊戯室を中心に、保育室は大きく両翼を広げて園庭を抱えこむように配置され、守られたやすらぎの空間を創りだしている。

大規模な木造建築でありながら、鉄と木のハイブリットな架構方式を取り入れ、子どもたちが生活する場として、その巨大さを感じさせないよう細やかな配慮がされて、安心して生き生きと活動できる空間を創り出している。

南面する大屋根を利用してOMソーラーシステムを導入し、冬には太陽熱を、夏には夜間の冷気を取り込み、四季を通じて快適な室内環境を作りあげている。心地よい室内環境で、各保育室の間仕切りは撤去でき、将来大空間での多様な授業形式を可能にし、遊戯室の仕切りを取り除くことにより「室内の園庭」として遊びの広場の出現も可能にしている。

建築主：学校法人 廣池学園

設計：株式会社 集工舎建築都市デザイン研究所
近角建築設計事務所

施工：清水建設株式会社千葉支店

所在地：柏市光ヶ丘2-1-1



▲アプローチからの全景 (撮影 新写真工房)

仕上げ材料は、内外装ともに化学物質の使用は避けて天然材料を採用、園児の健康への配慮も重視している。

「人を育む環境としての建築空間」として、気配りのいき届いたやさしい作品である。

(夏目幸子)



◀木の集成材を用いた遊戯室のドーム天井